

いわで 議会だより

2015.9

37

紀の国わかやま国体・大会



Contents

- 2 第2回定例会議決結果
- 3 一般質問
- 13 各常任委員会報告
- 18 特集・ボランティア紹介
- 9月議会の本会議開催予定日

岩出市議会ホームページ
<http://www.city.iwade.lg.jp/ja/iwadeshigikai.html>
※携帯電話・スマートフォンなどの
バーコードリーダーで読み取ると、
議会ホームページにアクセスでき
ます。



QRコード

平成27年第2回定例会議決結果

案 件 名	結果	賛否（○……賛成 ×……反対 —……賛否に加わっていない）															
		公明党議員団			日本共産党議員団		岩出クラブ		郁青青クラブ			ネット岩出		尾和弘一			
		宮本要代	玉田隆紀	田畑昭二	市來利恵	増田浩二	西野豊	上野耕志	福山晴美	山本重信	三栖慎太郎	松下元	井神慶久		梅田哲也	田中宏幸	吉本勸曜
専決処分の承認を求めることについて (岩出市税条例等の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (岩出市都市計画税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (岩出市入湯税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (岩出市国民健康保険条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (岩出市国民健康保険税条例の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (平成26年度岩出市一般会計補正予算第6号)	承認	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
専決処分の承認を求めることについて (平成26年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算第4号)	承認	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
専決処分の承認を求めることについて (平成26年度岩出市介護保険特別会計補正予算第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分の承認を求めることについて (平成26年度岩出市下水道事業特別会計補正予算第5号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市半島振興対策実施地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市重度心身障害児者医療費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度岩出市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度岩出市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度岩出市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市公共下水道(1015-9)下水管布設工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市公共下水道(1015-10)下水管布設工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩出市公共下水道(1015-11)下水管布設工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
那賀老人福祉施設組合の解散に関する協議について	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現に関する請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○
戦争につながる安全保障関連2法案(国際平和支援法、平和安全法整備法案)の廃案を求める意見書採択についての請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
「集团的自衛権」行使を具体化する「安全保障法案」(戦争法案)に反対することを求める請願書	不採択	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(議長のため、賛否に加わることができない。)

一般質問

9名の議員が市政を問う

*質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
*内容等については、質問者にお問い合わせください。

福山晴美 議員 4頁

- ◎スマホの認識について
- ◎岩出市の観光事業について

宮本要代 議員 5頁

- ◎交通安全教育について
- ◎高齢者施策について
- ◎男女共同参画の視点から

梅田哲也 議員 6頁

- ◎自治会への加入促進について
- ◎中学生の自転車通学について

田中宏幸 議員 7頁

- ◎小学校運動会の開催時期について
- ◎災害対策について

尾和弘一 議員 8頁

- ◎子ども医療費について
- ◎「道の駅」について
- ◎母子手帳について
- ◎交通指導員について
- ◎マイナンバーについて
- ◎教育問題について
- ◎安保法制に関して

増田浩二 議員 9頁

- ◎EV施設について
- ◎根来小学校の環境整備について

田畑昭二 議員 10頁

- ◎国保財政の健全化について
- ◎観光振興について

市來利恵 議員 11頁

- ◎認可保育所（公立・私立）の延長保育料について
- ◎熱中症対策にウォータークーラーの設置を求める

玉田隆紀 議員 12頁

- ◎下水道事業について
- ◎留学生受け入れについて
- ◎生活困窮者自立支援制度について

◆一般質問項目の事前公表

一般質問における質問者・項目については、事前に岩出市議会ウェブサイトで公表しています。ぜひ、ご覧ください。



福山 晴美 議員
(岩出クラブ)

スマートフォンの認識

スマートフォン・携帯の急速な普及にともない、新たな問題が多発している。

夜遅くまで友達とのメールの返信に気を取られ、自分の生活に集中できず勉強する時間が少なくなり学力にも影響している。

愛知県刈谷市では、「夜9時以降、親にスマートフォンを預ける。」取り組みを始め、一ヶ月後、勉強の時間が増え、トラブルを防げる等生活の改善につながった。
この取り組みは、全国に広がりつつある。

質問

- ① 児童・生徒の現状は。
- ② 現時点での市教委の対応は。
- ③ 今後の市教委の対応予定は。

答 弁 教育部長

- ① スマートフォン・携帯



の所有率と2時間以上通話・メールをするのは、全国・県の平均より上回っている。

家庭での学習時間が短くなっている。

② PTA総会で現状を説明し、学校・保護者・教育委員会が連携しながらスマートフォン等の使用制限に向けた協力を依頼した。

児童・生徒への啓発の強化を指導している。

③ スマートフォン等の使用に関する「特設の授業」を実施し、小中学生のうちに改善しておく必要があることなど指導する。実態に合った対策を検討し、できるだけ早期に刈谷市のような運動が展開できるよう努める。

根来寺周辺観光促進事業の整備計画

平成28年4月1日、岩

出市誕生10周年記念事業に合わせて、旧和歌山県議会議事堂とねごろ歴史資料館をオープンさせる予定である。

京奈和自動車道岩出根来インターも開通が予定されており、岩出市の玄関が大きく変わろうとしている。

質問

県内外からもたくさんのお客様をお迎えするにあたり、どのような整備計画をしているのか。

答 弁 事業部長

ねごろ歴史資料館、旧県議会議事堂を拠点とし

て、地域の人々に親しまれる整備・活用をめざしている。

「ねごろ歴史資料館」埋蔵文化財出土品展示施設。別棟に便益施設を整備。

「旧県議会議事堂」

県議会に関する資料の展示。喫茶室・展示室・物販室。議場では、会議・講演会・演奏会の利用。

歩行経路、小公園の整備、多言語での案内看板の設置など、観光地としてふさわしい施設の整備を行う。



ねごろ歴史資料館 建設予定地



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

介護支援ポイント 制度導入を



根来小学校、交通安全教室

改正道路交通法が施行

改正道路交通法が6月1日から実施。自転車に乗って、悪質で危険な運転をくり返すと、講習の受講命令や罰金が科せられる制度。

背景には、交通事故全体に占める自転車事故の割合が2割程度で高どまり。

自転車運転者講習受講義務の対象となる危険行為は、

○スマートフォン操作をしながら運転する。
○イヤホンで音楽を聴きながら運転する。

○2人乗りや並行運転をする。
等、注意を欠き、事故を起こした場合、安全運転義務違反に問われる。

質問
①交通安全教育についての取り組みは。
②自転車保険加入の状況は。

答 弁 教育長
①4月7日、保護者に、交通安全指導の依頼。警察に依頼し、交通安全教室を行う等、交通安全教育に努めている。
改正道路交通法に基づく交通安全意識の向上に努める。

②学校調べでは、加入率は34%。実際はもっと高いと考えられる。

PTAと協力しながら自転車保険への加入啓発に努め、児童・生徒の加入率100%をめざす。

高齢者施策

質問

高齢者の方がボランティア活動に取り組むことで、積極的に地域に貢献することを奨励、支援し、社会参加活動を通じた高齢者自身の健康増進を図る。これにより、地域で活躍する元気な高齢者が増え、生き生きとしたまちづくりにつながることを期待できる介護支援ポイント制度の導入を。

答 弁 生活福祉部長
財源が介護保険料の算定にかかわるため、他市等の制度内容や効果等の情報収集に努める。

質問
身体機能の向上と認知症の予防効果が期待できる介護予防体操の開発・普及を。



シニアエクササイズ風景

答 弁 生活福祉部長

岩出市は、シニアエクササイズを推進。独自に開発して普及していく考えはない。

今後、お年寄りがいつまでも元気で、住みながら地域で生活でき、非常に効果がある取り組みであれば、研究し、実施を考えていく必要がある。

他にも質問しました。

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進会議の進捗状況と構成委員について。

通学自転車に 保険加入を



梅田 哲也 議員
(ネット岩出)

自治会への加入促進を

質問

①岩出市における、自治会への加入世帯数と加入率、その現状について。
②加入促進のための具体的施策は。
③活発に活動し、加入促進に顕著な実績を上げた自治会に対して、振興助成金の加算をしようか。また、市のウェブサイトに特設ページを設けて、活動を広く市民の皆様に紹介してはどうか。

答弁 総務部長

①平成26年度の自治会数384、加入世帯数15,859、加入率は、72.8%です。団体数、加入世帯数は、増加しているが、転入による世帯数の増加割合が高く、加入率は若干減少傾向です。
②自治会活動に対する助成として、加入一戸あたり600円の自治会振興助成金を交付している。また、地域の集会所の建設助成金制度も設けている。

③加入者が増えると助成金も増額されます。活動の広報については、市のウェブサイトで、フェイスブックへの掲載も、今後検討していく。



中央小学校、交通安全教室

質問

中学生の自転車通学

①自転車通学の比率はどうか。6月からの道路交通法の改正について、生徒・保護者に熟知させているか。学校での講習会の実施予定は。
②中学生と歩行者の事故は、報告されているか。自転車保険の加入状況は。

③神戸市で、子供が加害者になる事故で、9,500万円の損害賠償を命じる判決があったが、保険の加入を自転車通学の許可する条件にしてはどうか。

答弁 教育長

①自転車による通学は、ほとんどの生徒が行っている。市内小中学校に改正通知を行い、各学校において、警察官による交通安全教室を実施している。
②過去3年間では、平成24年度に中学生と自転車

に乗って信号待ちをしていた方への接触事故が一件ある。対自動車との事故が大半である。
③保険への加入状況は、学校調査によると、加入率34.4%となっているが、保護者の自動車保険の特約や自転車購入時の加入もあり、再度、調査します。

児童生徒が、加害者となった時の重大さに鑑み、PTAの皆様とも協力して、加入率100%をめざしたい。



春に小学校運動会の開催を

秋に開催の運動会は練習日を含め、猛暑日が多く、熱中症対策が必要となります。

質問

①健康上の理由で小学校の運動会を春に開催してはどうか。
②春に開催するには支障になることがあるのか。



田中 宏幸 議員
(ネット岩出)

答弁 教育長

①運動会の内容や開催時期については、学校長の裁量に委ねているため学校の判断となる。
市教育委員会は、校長

会に開催時期の変更を相談しており、平成28年度から運動会を1学期に開



開催を

催する方向で検討中である。

②春に運動会となると修学旅行と運動会の練習時期が重なるため、修学旅行の実施時期を検討する必要がある。

質問

集中豪雨による浸水対策として市ではポンプ車を購入されました。

①ポンプ車の使用方法、人員配置、日常訓練はどうするのか。

②ポンプ車を発電機として災害現場や避難場所を活用する考えは。

③現在、総合体育館の駐車場に保管しているが、特殊車両なので屋内の保管場所にしては。

答弁 総務部長

④車両の運転には中型免許が必要であるが、取得者は。

①使用方法、配備基準は、河川のはん濫や道路の冠水、住宅の浸水など発生のおそれがある時、あらかじめポンプ車を配備する。

人員配置については、市職員の中で14名をポンプ車操作員とし、1班7名の2班集体での配置として、警戒配備態勢をとる。

日常訓練は、毎月1回以上装置の作動確認や車両走行点検を行った上で車両運転やポンプ操作の訓練を行う。

今後も危機管理監指導のもと、定期的に訓練を実施し、操作習熟を図っていく。

②搭載している発電機は電圧などの規格の問題があり、排水ポンプ以外の使用は難しい。



ポンプ車 稼働状況

③保管場所は、今後、補助金を活用して防災の拠点施設として防災資機材の整備も考えている。その際に車庫の併設も検討していく。

④ポンプ車操作員14名のうち、3名が中型免許を取得している。今後も順次取得を予定している。



尾和 弘一 議員

マイナンバーは安全か？

質問

住民ネットの普及率は低い中、今度は国民一人一人に「番号」を打ち管理統制するものである。年金番号の漏えいがある中情報の100%の管理・把握はできない不信が続出している。①サイバー攻撃の対策は万全かどうか。②基幹系と情報系の区別はどうか。③預貯金の統合はどうか。④この時点で延期すべきであると考えはどうか。

答 井 市長

今回の流出事案の実態把握や問題検証により、徹底的に原因究明を行い緊急に再発防止を講ずること。個人情報保護に関して万全の措置を講じ、

国民に丁寧に説明する。

今年10月から番号を通知、来年1月から交付を実施していきます。

答 井 総務部長

サイバー攻撃については基幹系と情報系は分離しており情報が漏れないよう万全を期したい。預貯金の情報については個人の資産を把握することになるので、税金等の滞納している場合は徴収事務に利用できると考えている。

質問

子ども医療費2割分「手間の係る不慣れた制度にすべきでない」

子ども医療費、早期に完全無料化を求め、2割分の自己負担が返還されるが手続きはどうか。

答 井 生活福祉部長

中学生の入院は、現物給付で実施する。小・中学生の通院は、窓口負担した一部を償還し、口座振替で支払う。

申請書の記入箇所の簡素化や休日・夜間申請ボックスを利用し、市民の利便性の向上を検討したい。

質問

平和憲法を壊す「戦争法案」について市長の姿勢と所信を求めたい。

多くの国民が反対し「戦争法案」に怒りと批判の声がある。戦後の平和主義を破壊する法案であり「二度と再び戦場に子や孫を送らない」と私たちは誓いました。

答 井 市長

国政に関する政策等に関して個人的な見解を市長として申し上げる考えはない。この法案は、国の専管事項であり国政の場において議論を尽くし、国民の理解を得るよう努めて頂きたい。



和歌山弁護士会のアピール(7・12)



岩出市…現在の手帳

母子手帳を「親子手帳」へ改名すべきである。

質問

現行手帳は、男女共同参画社会の観点からして父・母親を問わない「親子手帳」に改名すべきである。

答 井 生活福祉部長

国において名称変更の意見がありました。妊産婦、乳幼児の健康の保持及び増進の重要性に鑑み、名称は変更しないこととなった。



増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

防災・観光面でEV充電施設を



EV充電施設

質問

①電気自動車（EV）の普及が進む中、EV充電施設を設置し、観光客の利便性を図り、観光面でも活かそうとする自治体も増えてきている。根来げんきの森、緑化センターなど、県の施設にも設置がされてきている。岩出市でも庁舎をはじめ、ねごろ資料館、さぎのせ公園といった公共施設などにEV充電設備を設置し、観光面でも活かすべきではないか。

②公共施設の災害対策として停電の際、EVの駆動用バッテリーを蓄電池として活用する電力供給システムを導入する自治体もある。非常用発電機の補助電源として仮設照明、携帯の充電、ホール照明など約42時間電力を供給できるとのこと。

災害対策として調査研究してはどうか。

③今後、EVスタンドの普及が求められると考えますが市の対応は。

根来小・岩石園の改善対策を

質問

①根来小学校の東口玄関前の岩石園の施設が危険立ち入り禁止となっている。草ぼうぼう状態であり、環境面でも景観面でも子どもたちに悪影響を及ぼしている改善を。②予算配分が少ないから改善要望も出せない状況もあると聞いている。市全体の教育予算の増額を

答 弁 生活福祉部長

①県において次世代自動車充電インフラ整備ビジョンが策定されており、市のビジョン策定は考えていない。③企業などへの対応は県において、企業に個別に整備依頼していると聞いている。

答 弁 事業部長

①EVの普及状況を見ても、維持管理面で採算がとれないと考えている。県の利用状況を見て判断をしていきたい。

図る必要性があるのではないか。備品と施設改造を分けるべきでは。

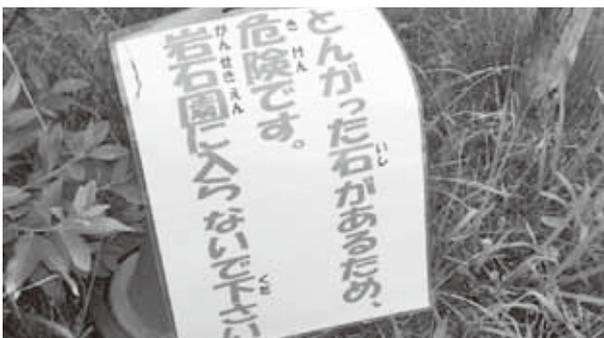
答 弁 教育部長

①児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう根来小学校と緊急協議を行い、対応していきたい。②緊急性、必要性を考慮しながら優先順位をつけて取り組んでいる。

答 弁 総務部長

②EVの駆動用バッテリーの補助電源利用は、販売数は非常に少数であり、普及を待っても遅くないと考えており、調査研究の考えはありません。

自家発電は、市役所72時間、保健福祉センター非常用電源3時間。他の公共施設は非常用発電施設はありませんが、発電機を7台保有しておりその稼働で補助電源に充てる計画です。



根来小学校

国保財政健全化 にレセプトを



田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

データヘルスの実
施は

質問

・国保財政の健全化は、市民の健康増進と医療適正化が大切である。

生活習慣病予防を柱とした健康事業を取り組んでいるが、さらに効果的・効率的な保健事業を行うため、有効なデータに基づいた現状分析や課題の洗い出しが必要不可欠である。

医療機関から保険者に送られる請求書、いわゆるレセプトに着目活用して成功している自治体が多くなっている。

国は、平成26年度中にデータヘルス計画の策定を義務づけているが、当市において、この計画の取り組み状況はどのようになっているのか。



今後、データヘルス
計画を策定する

答 井 生活福祉部長

国民健康保険では、国保財政健全化の取り組みとして、レセプト点検を強化しており、市では、レセプト点検専門員を雇用し様々な点検を行っている。

データヘルス計画は、レセプト情報や健診等のデータ分析に必要なシステムを開発し、昨年10月頃から分析データの提供が開始された。今後、このシステムを

活用し、国保加入者の健康状態や疾患構成等の全体像の把握に努めるとともに、これらのデータ分析に基づくデータヘルス計画を策定する。

観光振興の取り組みは

質問

・①市事業としてのねごろ歴史資料館の基礎工法の再検討とは、具体的にどのような工法になるのか。

・②根来寺周辺観光促進事業の将来展望と、当市への観光客数の目標は設定されているか。

・③長期総合計画には、道の駅根来さくらの里を拠点として、観光情報の発信に取り組みとあるが、現在の根来さくらの里で対応は可能か。

新たな発信拠点を
考えている

答 井 事業部長

①造成工事を進める中で、予想外の湧き水があり、



ねごろ歴史資料館 建設予定地

公共施設としての強度や耐久性を考える上で十分な対策を施すため、再度基礎構造を検討する。

②ねごろ歴史資料館並びに旧県議会議事堂を観光の拠点として、大門までの歩行経路の整備、大門前の整備、広域農道の歩行整備、多言語案内板の設置などを行う計画がある。

③現在事業中のねごろ歴史資料館並びに旧県議会議事堂についても、新たな観光情報の発信拠点としての活用も考えている。

延長保育料 徴収しない考えは

今年度から、子ども・

子育て支援法の下、制度
が大きく変更しました。

保育の必要性を認定し、
さらに保育必要量を保育
標準時間と保育短時間で
区分されます。短時間と
認定されれば、延長保育
を利用する場合、30分100
円の料金が発生していま
す。



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)

質問
①公立・私立の設定状況
は。



②時間外へのペナルティ
ー、各園の対応は。
③延長保育料、徴収しな
い考えは。
④短時間保育と認定され
ている方が、就労時間の
変更があった場合、標準
時間への切り替えはスム
ーズに行えるのか。

答 弁 生活福祉部長

①公立30分100円。私立、
基本的に公立と同様の料
金設定だが、1園のみ違
う料金設定。

②公立では、保育時間を
過ぎても迎えに来ていた
だけない場合、以後、そ
のような事がないよう保
護者にお願いをしている。

私立では、ほぼ公立と
同様の対応であるが、1
園のみ、別途15分当たり
500円を徴収していると伺
っている。

③「標準時間認定の方と
の均衡を失うことのない
ようにする。」という
観点から徴収している。
徴収しない考えはない。
④就労時間が変わったの
であれば、標準時間に切
り替えて対応をとってい
くべきだと考えている。

認可保育所でありなが
ら、違いが生じることは、
保育サービス・質の低下
につながるのではないか。

質問

公立水準に合わせるべ
きではないのか。

答 弁 生活福祉部長

事業者として、自由な
裁量に基づいて経営を行
う部分。一部負担金は事
業者が自由に定めるもの。
市に指導する権限はない。

子どもたちの熱中症対策

熱中症のリスクを防ぐ
ためにも、学校内にウオ
ータークーラーの設置が
必要と考える。

質問

①各学校の設置状況は。
②設置の考えは。

答 弁 教育部長

①岩出中学校1台、岩出
第二中学校3台、小学校



は設置していない。
②飲料水検査を実施し、
小中学校において、水道
水が飲料水として適した
ものであると判断をいた
だいている。
ウォータークーラーの
設置の考えはない。



玉田 隆紀 議員
(公明党議員団)

下水道事業

質問

- ①進捗状況と計画
- ②避難所の接続状況

答 弁 上下水道局長

平成13年度第1次認可	149ha
平成17年度第2次認可	159ha
平成22年度第3次認可	179ha
平成25年度第4次認可	204ha
平成26年度末	357ha
今年度 第4次認可区域の一部	63ha

今年度末に、第1次から第3次認可変更区域の整備が完了予定。
全体計画は、境谷・押川地区を除く市内1, 420haを対象とし、平成42年度完了目標に事業を進めている。

生活環境と

相談体制

留学生の受け入れ

質問

- ①受け入れ状況と協力体制について
- ②補助金制度の周知は

答 弁 教育長

受け入れ件数	
平成22年	25件
平成23年	5件
平成24年	19件
平成25年	2件
平成26年	17件

国際交流活動ボランティア名簿へのホストファミリー登録世帯数は、現在121世帯。
②若出市国際感覚豊かな人材育成に関する補助金交付要綱により、ホームステイを受け入れた日数に2, 500円を乗じた

額で、上限5万円。

制度は、現在、那賀高校において周知に努めている。

生活困窮者自立支援制度

質問

生活困窮者自立支援制度の内容と実情について

答 弁 生活福祉部長

平成27年4月1日より法律が施行。生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対する自立支援に関する措置として、
・ 自立相談支援事業
・ 住居確保給付金の支給事業
を行う。



4月から5月末まで34件の相談があり、制度の適用となるケースは、1件でした。

任意事業（就労準備・一時生活・家計相談・学習の延長等）は他市の状況を検討し、当面は相談支援等必須事業の充実に努める。

各常任委員会 活動報告

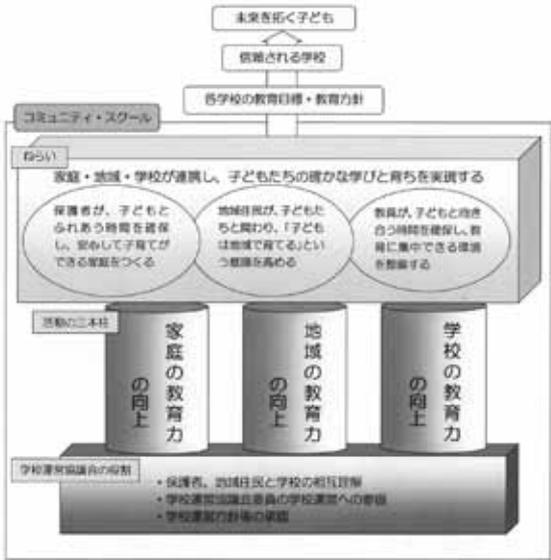
総務文教常任委員会

委員長	福山	晴美
副委員長	宮本	要代
委員	梅田	哲也
〃	田中	宏幸
〃	山本	重信
〃	市来	利恵

視察レポート

5月19日、愛知県一宮市、20日に同じく刈谷市で、先進事例を視察してきました。

コミュニティ・スクール推進のための構想図



一宮市

一宮市のコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度 以下CS）の担当者からCSの推進に至る経緯や今後の課題などの説明を受けたあと、岩出市からの質問に答えていただきました。

一宮市は、CSの取り組みに関して、保護者や地域住民が直接学校運営に参画することで、一宮市の教育活動をさらに充実させるものと考え、CSの導入を決定されました。岩出市は「活力あふれ

るまち ふれあいのまち」の実現にむけ、教育行政も家庭と地域社会との連携協力を図りながら取り組んでいます。一宮市のCSの取り組みが参考になる事業については提言をしたいと思います。

刈谷市

「携帯電話やスマートフォン等の安全な使用のお願い」の取り組みについて、刈谷市教育委員会から説明を受け、岩出市からの質問に答えていただきました。

刈谷市は、

- ・ 必要のない携帯電話やスマートフォン等を持たせない。
- ・ 親子で約束をしっかりと結び、必ずフィルタリングサービスを受ける。
- ・ 夜9時以降、お子さんから携帯電話やスマートフォン等を預かる。

取り組みを平成26年4月から始められました。岩出市の全国学力・学習状況調査における児童・



生徒の携帯電話やスマートフォン等の使用の実態は、全国平均を大きく上回っています。メールやLINEなどの使用のトラブルや犯罪に巻き込まれるといった事例が、いつ起こるかも知れません。研修で得た情報を活かしてまいります。

厚生労働委員会

委員長 三栖慎太郎
副委員長 吉本 勸曜
委員 西野 豊
〃 田畑 昭二
〃 増田 浩二

視察レポート

7月22日、東京都日野市、23日に神奈川県鎌倉市で、子どもの発達支援先進事例を視察してきました。

日野市の発達・教育支援センター「エール」は、発達面や行動面、学校生活面において支援を必要とする子ども、子どもの育ちに不安のある保護者、関係機関に対し、福祉と教育分野が一体となって、継続した専門的で総合的な相談や支援を実施し、0～18歳までの子どもの育ちを切れ目なくサポートする目的で設置された充実の施設です。



Q 開設の経緯は。
A 開設前も福祉と教育の連携は行われていたが、就学時の情報継ぎが、スムーズでなかった。例えば、それまで発達相談を受けていた家庭も、就学時には、相談窓口で書類を一から書き直さなければならなかった。また、どこに相談に行けばよいかわからないという声も聞かれた。そこで、福祉と教育部門を一体化し、窓口を一本化しようと開所した。

また、就学前後で同じ臨床心理士がかかわれる。つまり、0～18歳までの子どもの育ちを切れ目なく支援できることが最大のメリット。
Q 福祉と教育で切れ目なく子どもを支援するための工夫は。
A 0～18歳までの間に受けた支援の内容等を記録する「かしのきシート」をつくり、エールで保育、幼保小中と、ステージが切り替わる際の移行支援に役立っている。

生まれや育ちの記述のほか、1年に1枚、支援の目標、支援内容、支援計画等を記入。小学校以降は、個別指導計画の内容も加わり、保護者、学校、エールの三者一体での見守りが可能。
Q 支援の利用をためらっている保護者に、どんな言葉をかけるのか。
A ひとりで悩んできた保護者が、専門家に相談することで、具体的な支援方法が見え、気持ちが



楽になる。相談をもとに指導・支援が始まり、子の変化を見れば、さらに安心できる。また、学習や生活環境を整えれば、子どもの困難もすいぶんと解消される。早期に、適切な支援を受けるため、ぜひ自治体の相談窓口を訪ねて欲しい。

鎌倉市では、5歳児すこやか相談事業について、5歳という年齢は、集団生活を通し、社会性が大きく成長する時期で、保護者の子育ての悩みも変化する時期。

3歳児検診以降、子どもの成長を確認する機会がないため、子どもの成長を振り返るとともに、



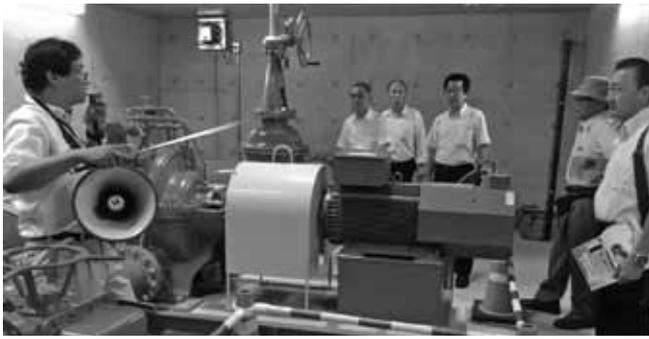
子育てや発達に関する相談の機会にしたいのと。保護者からの相談票をもとに、専門スタッフによる個別の相談や園での集団保育の行動観察、観察結果の園へのフィードバック等を行い、特別な支援が必要な子どもの早期発見と適切な支援、子育ての悩み相談の機会として、一人ひとりの子どもと保護者に寄り添う細やかな支援体制となっている。いずれの市も子育て世帯の立場に立った、先進の政策。今後の岩出市の子育て施策にも活かしていきたいと思えます。

建設常任委員会

委員長 玉田 隆紀
副委員長 上野 耕志
委員 井神 慶久
〃 松下 元
〃 尾和 弘一

視察レポート

7月2日、香川県丸亀市、3日に同じく坂出市で、先進事例を視察してきました。



丸亀市

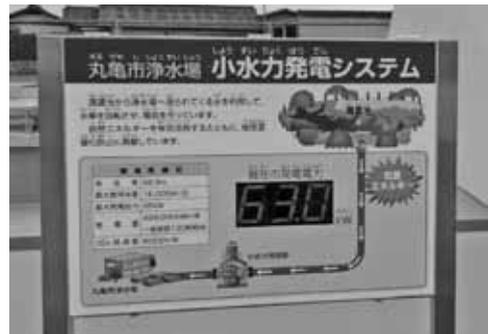
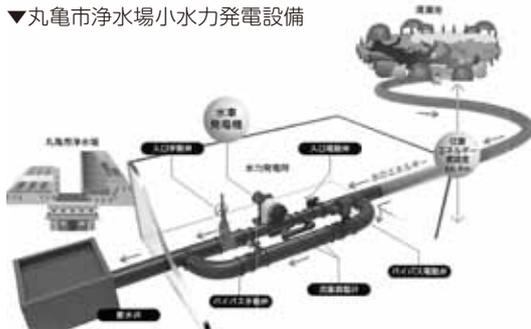
浄水場を利用した、小水力発電設備についてお聞きしました。

水力発電事業に至った経緯は、東日本大震災以降、環境にやさしく、安全で安心な水力や太陽光風力などの再生可能エネルギーに対する意識の高まりが見られ、丸亀市浄水場内に整備された。

小水力発電は、上流水源との落差を有効利用したもので、CO₂排出削減による地球温暖化防止対策の推進と電力不足問題の解消を目的として整備されました。

問題点や諸課題については、再生可能エネルギーの固定価格買取制度は20年間の期間限定であるため、制度終了後、売電単価が大幅に下がること予想されるので、20年後に設備の状態を細かく調査し、制度終了後の発電継続について慎重に検討する必要があります。

▼丸亀市浄水場小水力発電設備



坂出市

にぎわい創出事業についてお聞きしました。

坂出市の魅力をアピールし、集客力が高まるような事業やにぎわいを創出する効果が高いと認められるイベント事業を公募し、審査会において選考された団体の活動を支援し、1事業につき50万円以内を補助します。

(募集する事業)

- ・地域の課題を踏まえ、これらの解決と地域の活性化を図ることを目的とした、新規事業または既存事業を拡大し、もしくは発展させる事業
- ・市のにぎわい創出に広く寄与する事業

〈対象とならない事業〉

- ・営利、宗教的、政治的な事項を目的とする事業
- ・坂出市外で開催される事業
- ・参加者を特定の個人または団体のみに限定している事業
- ・坂出市から他の補助金の給付を受けている事業
- ・補助金の交付を受けようとする年度内に完了しない事業

出会いのきっかけを提供する婚活プロジェクトや壊れたピアノを修理し、音楽があふれる街にとピアノ・ピース・プロジェクトや市が管理している旧病院施設を地元のアーティストによるアート空間として活用したプロジェクトなどがありました。婚活プロジェクトでは、カップルが結婚成立まで追跡取材するそうです。



議会広報常任委員会

委員長 田畑 昭二
副委員長 市來 利恵
委員 宮本 要代
梅田 哲也
三栖 慎太郎
吉本 勸曜
福山 晴美

視察レポート

6月25日、岩手県金ケ崎町議会、26日に同じく花巻市議会で、議会だよりの研修視察に行ってきました。

スピード発行

金ケ崎町議会では、発行までの期間が定例会終了後、約2週間と全国でもトップクラスの早さで編集作業を行っています。積極的に研修会へ参加し、専門家の診断を受け、コンクール等で数々の賞を獲得されています。視察の受け入れにも慣れていくようで、私たちにもモニターを使って、丁寧に説明をしていただきました。



バランス良くレイアウト

町広報も議会報も、ともに良い街づくりのためにあるもの。行政批判紙とならないように。読者は、議場にいない。わかりやすく、かみ砕いて知らせるように工夫する。常に、住民とキャッチボールを心がけ、住民主役のページを設ける。

チームワークで

見出し、記事、写真をバランスよくレイアウト。写真を大小織り交ぜ効果的に活用する。技術的なこと、議員の思いを伝えるという意気込み等、読みやすい紙面作りについて学んできました。

編集ソフト活用

花巻市議会では、編集ソフトを活用して最終段階まで委員会で作成しているとのことでした。

一般質問をした議員は、質問のみの原稿を200字以内で作成、答弁の部分は編集委員が担当されました。

2色刷の色を季節ごとに変えたり、見出し、文章を簡潔にわかりやすくまとめるように徹底されています。

質問の見出し、答弁の見出しを表記すれば、よりわかりやすい紙面となりますよとアドバイスをいただきました。



セミナーに参加

今年も、毎日新聞社主催の広報紙セミナーに、7月13日、14日、田畑委員長と梅田委員が参加しました。

このセミナーには、5年前から参加し、より良い紙面作りに取り組んでいます。

新聞社のプロの立場から、文章の書き方、写真の撮り方、レイアウト、校正の仕方などご指導をいただきました。

まだまだ、未熟な紙面ではありますが、より良い議会だよりと委員全員がんばっていきますので、これからも引き続き「いっわで議会だより」を、ご愛読いただきますようよろしくお願いします。



意見書を関係機関へ提出しました

地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

今国会において「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、国保の財政基盤の強化や都道府県による財政運営に向けて具体的な改革作業が始まるところである。

国保改革に当たっては国と地方の協議により、地方単独事業に係る国庫負担調整措置の見直しなどが今後の検討課題とされたところである。

一方、地方創生の観点から人口減少問題に真正面から取り組むことが求められており、全国の自治体では単独事業として乳幼児医療費の助成制度の拡充などに取り組む事例が多くみられる。

さらに、平成26年度補正で用意された国の交付金を活用し対象年齢の引き上げなどの事業内容の拡充に取り組む自治体も報告されているところである。

こうした状況の中で、全ての自治体で取り組まれている乳幼児医療の助成制度など単独の医療費助成制度に対する国の減額調整措置について、下記のとおり早急に見直しを行うよう強く要請する。

記

1. 人口減少問題に取り組むいわゆる地方創生作業が進む中、地方単独事業による子ども等に係る医療費助成と国保の国庫負担の減額調整措置の在り方について、早急に検討の場を設け、結論を出すこと。
2. 検討に当たっては、少子高齢化が進行する中、子育て支援、地方創生、地域包括ケア等の幅広い観点から実効性ある施策を進めることが必要であり、そうした観点から子ども等に係る医療の支援策を総合的に検討すること。
3. 地域間での格差をなくすと共に、子育て世代への経済的支援と未来を担う子どもたちの健康を守るためにも「子ども医療費助成制度」の拡充を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣

残暑お見舞い申し上げます。

市民皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

岩出市議会議員一同

特集

ボランティアを紹介します 岩出まちづくり協議会

いつも
ありがとう!!



活動に関心のある方は、協議会までお問い合わせください。(☎ 62-7106)



「花のまち」W.A.D.E. は花好きが集まって花のまちづくりに関わる活動を続けているボランティア団体です。
主な活動は、小中学校及び支援活動団体等へ花の苗を配付、市の行事等の会場の美観や雰囲気を感じ上げるための花壇設営等を行っています。また、市内5箇所で開催を感ぜられるよう4回、趣向を凝らした花壇造りを行っています。



現在、協議会では、街を花で埋め、気持ちよく本市を訪れていただけるよう、上の写真のように、市の玄関口である岩出駅前には花壇を造り、綺麗に演出しています。
また、本年は、国体開催の年でありますので、右の写真のように、競技会場入り口に、選手、応援団等の皆様をお迎えるための花の歓迎塔を作成しています。

9月議会の本会議開催予定日は、次のとおりです。
ぜひ傍聴にお越しください。

8/31(月)、9/4(金)、14(月)、16(水)、17(木)

編集後記

9月26日から10月6日にかけて第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」が「黒潮国体」から44年を経て開催されます。

当市では、ハンドボール、バドミントン、ボウリングの3競技が行われますので、選手の頑張りに温かい声援をお願いします。

また、来訪者には、当市の観光資源、伝統や地域文化を紹介し、心からもてなす絶好の機会でもあります。そして、国体開催を契機に活気のある「住みよいまちづくり」が進むことを願っています。

残暑厳しい中、皆様方には健康に十分留意され、健やかに過ごせますようお願い申し上げます。

議会広報常任委員会

- 委員長 田畑 昭二
- 副委員長 市来 利恵
- 委員 宮本 要代
- 梅田 哲也
- 三栖慎太郎
- 吉本 勸曜
- 福山 晴美

